

第51回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会

- 1 日時 令和6年11月5日（火）15:30～19:30
- 2 場所 皆生グランドホテル天水
- 3 出席者 島根経済同友会 33名
鳥取県経済同友会 46名
- 4 懇談会

鳥取県経済同友会の細田耕治代表幹事の挨拶で合同懇談会が始まりました。

講演会では、株式会社ジェイキャスエアウェイズ 代表取締役の梅本祐紀氏をお招きし、「新規航空路線と地方活性化」を演題としてご講演をいただきました。

梅本氏は、複数のスタートアップをIPOへと導き、特に andfactory 社を創業4年で東証プライム市場へ上場させた実績をもつリアルアントレプレナーです。梅本氏は、2023年9月より、地域航空を通じた日本の活性化を目指すジェイキャスエアウェイズの共同代表に就任され、経営・資金調達・地域創生事業を管掌されています。

ジェイキャスの三本の柱は、①綿密な事業計画による地域航空の立ち上げ②航空路線と紐づく地域創生の事業化③実用化が迫る空飛ぶクルマ領域の事業支援です。これらを経営理念として2026年春より関空発着の4路線を就航される予定で、そのうちの一つが関西空港と米子空港を結ぶ路線です。梅本氏は、米子便就航までの使用機材、チーム体制、人流を生み出す戦略、需要予測等、詳しく説明されました。

つづくパネルディスカッションでは、パネラーにご講演をいただいた梅本氏、島根県経済同友会の松尾倫男代表幹事、一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域



【細田代表幹事の開会挨拶】



【梅本氏の講演】



【パネルディスカッション】
【パネルディスカッション】

観光局の花形泰道理事長、鳥取県経済同友会の細田耕治代表幹事の4名で行われました。パネラーから、米子便の就航を期待する意見、課題への質問など多様な意見が出されました。梅本氏は、米子空港が世界に開かれた空港になるためには、関空と繋がることが重要であること。さらに、米子空港からの移動手段が課題なので、二次交通の整備をお願いしたい旨の意見が出されました。活気のあるパネルディスカッションで、予定時間を10分ほど超過してしまいました。

5 懇親会

懇親会は鳥取県経済同友会の米原代表幹事が開会の挨拶をされました。

懇親会は、講師の梅本氏も参加されジェイキャスの話題、島根、鳥取の中海圏域の観光の話題などで、大変盛り上がりました。また、来年度の西日本経済同友会会員合同懇談会が島根県を会場に行われるにあたり、島根県から鳥取県の会員に多数参加してほしいと懇親会の中で要請がありました。

懇親会の最後は、鳥取県経済同友会の加藤典裕副代表幹事の一丁締めで閉会となりました。



【米原代表幹事の挨拶】